

レインボープロジェクト

レインボー革命をめざします

虹(レインボー)は平和、多様性、共存のシンボルです。一人や一つの考えを強制するのではなく、虹のように多様な考えと個性を持つ市民の存在を前提に、丁寧な合意形成をめざします。そのための基本姿勢、基本理念、個別政策は次の通りです。

基本理念

- ・平和、主権在民、基本的人権尊重の日本国憲法を市政運営の基本におきます。
- ・市民のいのちとくらしを大切にす茨木市政をめざします。

基本姿勢

- ・お上意識をなくし、市民サービスの拠点としての市役所をめざします。
- ・府や国の下請け自治体ではなく自治と自主性を持った市行政を推進します。
- ・大阪府や大阪市で橋下・維新が進める教育基本条例、職員基本条例の考えは認められません。

〈7つのレインボープロジェクト〉

1、市民参加、信頼、透明性、公平・公正の市政をめざします

- ・市民と市長との対話を定例化します。
- ・「市民参加」、「信頼」、「透明性」、「公平・公正」の自治基本条例を制定し、市政運営の基本とします。
- ・市民と共に悩み、考え、行動し、市民に信頼される市職員、前例、慣例にとらわれず 絶えず時代をリードする職員への改革を進めます。
- ・公契約条例の制定で市の契約業者で働く人の労働条件を守ります。
- ・各種審議会の公募枠を拡大し、女性と若者の参加を拡大します。
- ・本市非正規職員の待遇改善をめざします。
- ・市議会とは緊張感と使命感を共有し、建設的議論を行います。
- ・特別職退職手当は8割カット、行政委員（教育委員日額3万円など）報酬と管理職手当等は減額し、非正規職員の条件を改善します。

2、人間らしく生きていける福祉の街づくりを推進します

- ・出生・子育てから老後まで自分らしく生きられる社会づくりをめざします。
- ・障がい者の雇用は市役所採用枠を拡大し、市内事業者にも協力を求めます。
- ・男女共同参画条例を制定し女性の社会活動を支えていきます。



- ・障がい者の自立支援策を拡充します。
- ・障がい者が入院した際の介護保障を実施します。

3、人と自然が調和した交通、環境、街づくりを進めます

- ・公共施設、道路などのバリアフリー化を促進します。
- ・バス路線の延長や拡充など公共交通の拡大で交通弱者の移動を支援します。
- ・ジョギング、ウォーキングコースの整備で市民の健康維持をめざします。
- ・監視カメラより効果のある街路灯で犯罪の防止に努めます。
- ・公共施設駐車場の一律有料化を見直し、ハートフルなど福祉関連施設は無料にします。
- ・安威川ダム本体工事、彩都開発、第二名神については見直しも含めて検討します。
- ・市民会館の建替えについては凍結します。
- ・動物の愛護と管理に関する条例を制定し、人と動物の共生をめざします。

4、放射能汚染を防ぎ生命、健康を守ります

- ・福島、宮城、岩手などの被災者に対する支援を強化します。
- ・放射能の拡散につながる放射能汚染がれきの受け入れには反対します。
- ・原発事故から子どもたちの甲状腺がんを防ぐための安定ヨウ素剤を備蓄します。
- ・学校、地域の大気、土壌、水道水の放射線量を日常的に測定し、異変に早期対応します。
- ・学校給食食材の放射線量を測定し安全な給食を提供します。
- ・関西電力にPPS（特定規模電気事業者）も含めた競争入札で電気料金を削減します。
- ・脱原発に向けて市独自でできるエネルギー政策を検討し、転換を進めます。

5、安心して子育てができる環境づくりを推進します

- ・待機児童の解消とともに、安心して預けられる保育所づくりを進めます。
- ・全ての児童生徒の教育保障を推進します。
- ・競争よりも共に生きる学校教育をめざします。
- ・小学校は自校炊飯方式の給食、中学校では完全給食を進めます。
- ・「弁当の日」の試行から定着を図り、食育の充実をめざします。
- ・学童保育、放課後事業を充実させます。

6、地域まちづくり委員会(以下、委員会)を中心に住みやすい地域づくりを進めます

- ・小学校単位で自治会や公民館など地域の諸団体と住民による委員会を作ります。
- ・委員会に市が補助金を出し地域での事業を任せます。
- ・委員会が福祉、防災など、安心・安全の街づくりの核になれるよう援助します。
- ・委員会が実施する夏祭り、体育祭、文化展などの行事を支えます。
- ・高齢者が集い楽しめる場所をつくり、引きこもりや孤独化を防止します。
- ・地域コミュニティの中心施設であるコミセン、公民館については午前だけでなく午後も受付が出来るよう職員を配置し、活性化させます。

7、市内産業の振興・活性化を図ります

- ・本市事業において市内業者を優先し育成していきます。
- ・本市の良好な自然を守るために里山の保全と農業振興を図ります。
- ・学校給食で地産地消を積極的に推進し、地元農業の振興につなげます。
- ・市内空き店舗での地元農産物の販売、高齢者が集う場、障がい者の店舗活用を進め、そのための補助や助成を行います。
- ・ゼネコン中心の大型開発から身近な環境整備を進め、地元業者の仕事を増やします。